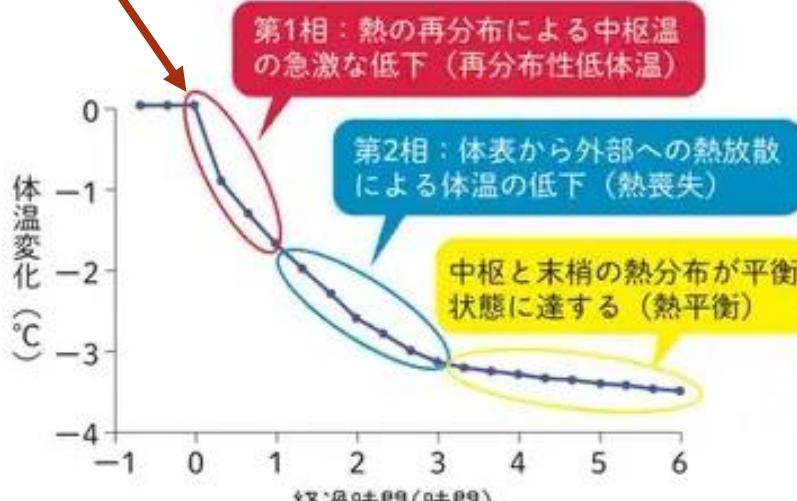


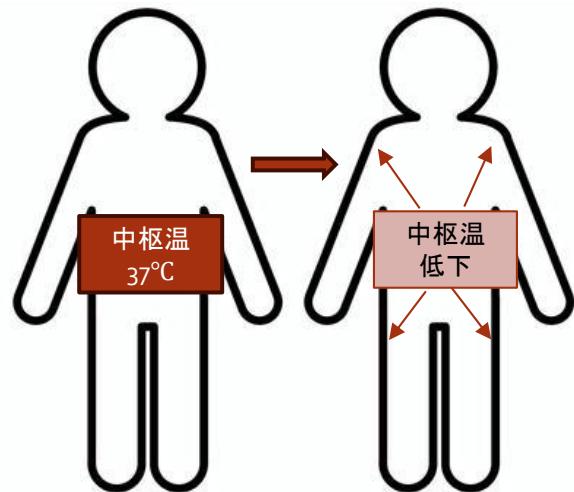
## ～手術における麻酔の影響について～

### 麻酔による体温低下

麻酔開始



(オペナーシングから引用)



中枢温が末梢へ移動（再分布）することで中枢温が低下し、その後末梢の熱も奪われさらに体温が低下します

心血管系への影響が大きい

＜体温低下のリスク因子＞  
高齢 やせ型 麻酔 出血  
開腹手術 腹腔鏡下手術  
長時間手術 輸血 大量輸液  
など

＜体温低下による合併症＞  
シバリング（悪寒戦慄）  
シバリングによる酸素消費量増加  
末梢血管収縮による血圧上昇 不整脈  
血小板機能・血液凝固能低下  
組織への酸素供給不足による創部感染率の増加  
など

\* シバリング・・体温を上げようとして体が小刻みに震える現象

### 手術を受ける患者の体温低下予防策

＜病棟でできること＞

- ・体を冷やさないように暖かくする
- ・術後ベッドを電気毛布で温める



術着+パジャマ下・靴下OKです  
術着の素材を変更しました

＜手術室でできること＞

- ・麻酔前からの加温
- ・術式や体位に応じた加温、保温の工夫
- ・室温の調節

麻酔導入前から加温し  
中枢と末梢の熱の較差を  
少なくすることで麻酔導入に  
伴う再分布性低体温を  
防ぐことが可能